

小学校区を核としたまちづくり～小学校に公民館がやってきた～

【主催】
須恵町教育委員会

【期日】
平成13年度から本格実施

【場所】
須恵町内の「3つの小学校」

【対象】
須恵町民すべて

【ねらい】
小学校の余裕教室に公民館の機能を設置し、それを核に小学校区コミュニティ作りを行うことを通して、地域の活性化を図り、須恵町全体のよりよいまちづくりを目指しています。

【内容】

①「校区コミュニティのねらい！（小学校と地区公民館の機能を併せ持つ施設に）」

- ・事業の精選。町と区（分館）と小学校区で事業の再構築を図る。（ビルドアンドスクラップ）
- ・学校教育と社会教育の連携・融合。
- ・新たなまちづくり参画者の発掘。
- ・将来予測される合併問題を踏まえたまちづくりのエリアが小学校区。

②「校区コミュニティによる新しい連携によるひとづくり、新しい集団によるまちづくり！」

- ・町内3小学校を地域のコミュニティセンター（地区公民館）に。
 - ・なぜ小学校区なのか
中央公民館中心では行事等への参加者が固定化。また、区（分館）ごとでは事業や取り組みに温度差。
そこで、小学校区が適したエリアだと考えた。
 - ・空き教室の活用（コミュニティ事務局・地域ギャラリー・会議室・趣味教養講座の教室等）
 - ・地域を知る（多面的な知識）地域を認める（再発見・再評価）地域を創る（まちづくりへの参画）
 - ・子どもの活動が見える範囲が小学校区。（育つ・育てる）
 - ・学校が地域のものであるという認識。（共有化）
 - ・開かれた学校づくりの実践。

③「具体的な取り組み」

- ・推進体制（役員会・推進会議・実行委員会・部会等）
- ・情報の発信、啓発、広報誌等の発行
- ・イベントによるコミュニティづくり（祭り・校区運動会・各種スポーツ大会等・研修会・講演会）
- ・学社融合プログラムの作成（ボランティア派遣事業・いきいきネットワークすえ）
- ・施設の開放（コミュニティ事務局・地域ギャラリー・趣味教養講座の開設）



すこやかコミュニティ事務局
「須恵第一小学校」



コミュニティ祭り
「須恵第二小学校」



コミュニティ祭り
「須恵第三小学校」

【成果】

- 小さな分館から、行事をコミュニティに移管して欲しいという意見が聞かれるようになった。
- 学校の教職員の校区コミュニティに対する理解が深まった。
- 「小学校区中心のまちづくり」へ住民意識が変わってきた。

【課題】

- 町行事や分館行事が優先されている。行事に追われ多忙を極めている。
- 前年（前例）踏襲的な行事や形骸化した事業を淘汰できていない。

【問い合わせ先】糟屋郡須恵町教育委員会社会教育課 吉松良徳課長
TEL092-934-0030